

オーストラリア貿易促進庁との業務協力協定の締結について

株式会社みずほ銀行（頭取：林 信秀）はオーストラリア貿易促進庁（Australian Trade Commission、以下「Austrade」）との間で業務協力協定を本日締結しました。

Austrade は、オーストラリアからの輸出、同国への直接投資、留学研修等の促進を担うオーストラリア連邦政府機関です。世界 48 カ国、82 カ所に事務所を展開し、日本国内にも 4 カ所の事務所と約 50 名の商務官を有しています。

オーストラリアは資源エネルギー国、農業・酪農国としての強みを背景に、経済成長を続けています。近年では同国の農産物を原材料とする食品加工や、医療部門における臨床試験等の研究開発のほか、小売・外食等のサービス産業の分野においても注目を集めていることから、日系企業からの関心も高まっています。また、日豪両国政府は 2014 年 7 月、経済連携協定（EPA）の締結に合意し、2015 年 1 月に発効しています。EPA 発効により、日豪の経済関係が強化され、今後さらに幅広い業種において貿易や直接投資も増加していくことが予想されます。

日豪両国政府間の動きと連動し、民間においても投資促進に向けた取り組みを活発化すべく、当行はこのたび Austrade との業務協力協定の締結に至りました。Austrade が有する豊富な情報を活用しながら、具体的には、①オーストラリアへの直接投資に関する定期的な情報交換の実施、②Web 等の情報提供ツールを活用した投資環境関連情報の発信機能の拡充、③Austrade と連携したセミナーやワークショップなどの開催、等に取り組んでいきます。〈みずほ〉は、本協定を通じ、日豪の経済関係の発展に貢献するとともに、オーストラリアへの新規進出や事業拡大を検討するお客さまへのサポート体制を一層強化していきます。

以上